

令和3年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続可能な地域づくりを進めます。</p>	<p>① <u>新型コロナウイルス感染症対策を最重要課題として取り組みつつ、安心して子どもを産み育てることのできるまちは、全ての人にとって住みやすいまちであり、子どもや子育て世代を中丹地域全体であたかく「見守り支え合う」取組を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「子育て環境日本一推進会議（仮称）」と連携し、令和2年2月に立ち上げた子育て中の方をはじめ、子育て支援者・地域住民・企業・行政機関等が集う「中丹子育て未来づくり100人会議」（プラットフォーム）を通じた子育て関係情報の発信、子育て支援者向けの研修会や働きやすい職場づくりに向けた企業ワークショップの開催等により、地域の主体的な様々な取組の展開を促進します。 ○ 「中丹子育て未来づくり100人会議」をベースとして、「京都子育て環境日本一サミット」の「中丹地域サミット」を開催します。 <目標：中丹子育て未来づくり100人会議の賛同者（累計） 150団体・人（R2：125団体・人）> <p>② <u>新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえつつ、中丹地域での働き方・暮らし方を若者や移住希望者に広く発信し、若者の地域定着や移住の促進を図るとともに、「儲かる農林水産業」を推進します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校卒業時に地域を離れる若者が多い中、高校在学中に魅力ある地元企業を紹介する出前講座や企業見学会を開催するとともに、地域で働く若者の働き方・暮らし方を広くWEBサイトで発信することにより、大学卒業時や結婚後のUターンも含めた若者の地域定着を進めます。 <目標：出前講座の開催 年間10校（R2：6校）、管内全高校生にWEBサト案内配布> ○ 管内3市やDMO等と連携し、地域の魅力発信に加え、移住実践者から中丹地域での実際の暮らしの話が聞ける都市部でのセミナーや現地を訪れるツアーを実施し、地域と移住希望者のマッチングによる移住・定住を促進する取組を進めます。 <目標：管内3市の移住相談窓口を通じた年間移住者数 400人（R2：149人）>

令和3年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
1		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の企業と企業、高等教育機関をつなげ、交流の場を創出する等、新商品開発や新たなサービス提供等の新たな価値創造の促進を目指す新産業イノベーションを推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <目標：企業交流会の開催 年間3回、参加企業延べ40社（R2：3回、36社）> ○ 京のブランド産品である万願寺甘とうをはじめ、茶、丹波くりなど、中丹地域の主要農産物について、ICT等スマート技術の導入や新規生産者向け講座、品質向上講座を開催して生産量の拡大を図り、「儲かる農林水産業」を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <目標：主要農林水産物の年間生産額 9.8億円（R2：9.2億円）>
2	<p>「もうひとつの京都」の推進による交流の拡大と関係人口を創出します。</p>	<p>① <u>POSTコロナ時代の地域活性化に向けて、海・森の京都DMOと連携し、中丹地域の魅力ある自然や地域文化、食などの特産品等の地域資源の魅力向上や情報発信を通じた交流の拡大と関係人口の創出に取り組めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管内3市や企業、学校等と連携し、令和3年2月に開設したまとめサイト「CO-KYOTO」や各種メディアを通じて、中丹地域の子育て、働き方、移住、観光・イベント、季節の特産品等の地域情報を出身者をはじめ、ゆかりの方々に対して発信するとともに、ファムトリップを実施して情報拡散や誘客、購入等につなげ、新たな中丹ファン（応援団）の獲得拡大に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> <目標：地域応援活動への参加者数 年間2,000人（R2：1,310人）> ○ 地域の魅力ある食材を活用した加工商品を「京都中丹いちおし商品」として選定し、消費者視点による付加価値向上や販路拡大の支援を行うとともに、「食の京都TABLE」等での魅力発信・PRや、安全でおいしい「中丹認証ジビエ」によるジビエフェアの開催に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> <目標：「京都中丹いちおし商品」、「京都中丹認証ジビエ」の年間販売額 3,150万円（R2：2,840万円）>

令和3年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 大江山や由良川、舞鶴湾などの豊かな自然を活かした「自転車」「カヌー」「トレッキング」のコースや、食事や買い物ができるサポートステーション等の情報を一元的に集約しPRするとともに、登山地図アプリを活用した情報発信や協力店の拡充等に取り組みます。 ○ 京都舞鶴港の旅客ターミナル「うみとびら」の供用開始を踏まえ、海路からの周遊促進・観光消費拡大のため、観光関係団体等と連携して、観光情報を一元化するとともに、所要時間別コースや二次交通、キャッシュレス対応店等の案内情報を情報提供サイト「京都舞鶴港エリアNAVI」で発信します。 ○ 人流・物流や広く地域の生活を支える主要幹線道路等の道路整備を進めるとともに、橋梁やトンネル等施設の安全を確保し、維持コストを抑えながら施設の長寿命化を講じます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小倉西舞鶴線 [白鳥工区]、国道 429 号 [兵庫県丹波市青垣町中佐治～福知山市談]、小浜綾部線 [大町バイパス]、市島和知線 [福知山市三和町上川合～台頭] ・ トンネルLED照明交換：国道 175 号 [金屋トンネル]、国道 426 号 [登尾トンネル]、談夜久野線 [ゆずりトンネル]、由良金ヶ岬上福井線 [大君トンネル] ・ 点検橋梁：125 橋、点検トンネル：19 本、補修実施橋梁：11 橋、補修実施トンネル 4 本

令和3年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
3	<p>国土強靱化の推進による災害に強い地域づくりを進めます。</p>	<p>① <u>国・市とも連携し、森林から河口までの総合的な治山・治水・流域対策を推進するとともに、避難に関する住民意識の向上や地域ぐるみでの取組を支援する等、地域の災害対応力の強化を図ります。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国の由良川治水対策事業や市の下水道事業等と連携した河川改修や土砂災害事業、治山施設の設置や森林整備等、総合的な治山・治水・流域対策を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川事業：8河川 大谷川、弘法川、法川、相長川、伊佐津川、高野川 等 ・ 砂防事業：13箇所 谷河川、上北谷川、万願寺川支溪、旭ヶ丘川 等 ・ 急傾斜事業：6箇所 福知山市大江町三河、舞鶴市志高、綾部市小西町 等 ・ 海岸事業：1箇所 神崎海岸 ・ 治山事業：8箇所 福知山市観音寺、舞鶴市三日市、綾部市篠田町 等 ・ 森林整備：間伐面積 480ha 福知山市夜久野町直見、舞鶴市鹿原、綾部市上原町 等 ○ 洪水時でも3市間の主要幹線道路のネットワークが確保できるよう、路面のかさ上げなど道路機能の強化を図るとともに、集落の孤立化防止のため、道路法面の崩落防止等の対策を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 路面のかさ上げ：国道175号 [福知山市下天津、舞鶴市小津田]、舞鶴福知山線 [舞鶴市三日市]、舞鶴綾部福知山線 [福知山市川北～猪崎] ・ 法面防災：田井中田線 [舞鶴市田井]、舞鶴野原港高浜線 [舞鶴市平]、市島和知線 [福知山市三和町大原] ○ 河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表による避難に関する住民意識の向上や、防災士等の派遣による自主防災組織の水害等避難行動タイムライン作成支援等、管内3市と連携して、自助・共助による住民の避難行動促進に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> <目標：洪水浸水想定区域図の作成・公表：谷河川、川合川、友渕川、久田美川、西坂川等 21箇所 (R2：16箇所) > <目標：タイムライン策定組織数 (累計) 316組織 (R2：146組織) >

令和3年度 中丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標
3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去に内水被害が生じた府管理河川流域で実施した田畑やため池等も含めた流域全体の雨水貯留可能量等調査の結果を、流域のあらゆる関係者間で共有し、流域全ての住民はじめ関係者それぞれが行うことができる浸水対策について啓発する等、地域ぐるみの防災・減災対策につなげます。 ○ 住民から災害情報の提供を受けて災害対応機関で共有する中丹地域独自の災害情報システムについて、講習会を開催して災害情報提供者を拡大し、行政の初動対応の迅速化につなげます。 <div style="text-align: right;"><目標：災害情報提供者数（累計） 300人（R2：133人）></div> <p>② 訓練実施や避難道路の整備等、万々に備えた原子力防災対策を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原子力災害発生時における広域避難計画の実効性を高めるため、P A Z地域（5km圏）で暮らす住民が存在していることを踏まえ、予防的避難の実施を含めた訓練を各市と連携して住民参画により実施し、住民理解を促進するとともに、緊急事態時に避難退域時検査場所で汚染検査等を行うことができる職員を育成します。 <div style="text-align: right;"><目標：訓練参加住民数（年間） 200人> <目標：職員の育成数（年間） 30人（R2：27人）></div> ○ 迅速・安全な避難のため、半島部や山間部など代替ルートのない路線における車両の離合困難な区間の道路整備を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田井中田線、舞鶴野原港高浜線、名田庄綾部線、上杉和知線、舞鶴和知線 等